

**The 40th Annual Scientific Meeting of
the Japanese Society of Clinical Pharmacology and Therapeutics**

**プログラム
12月6日(金)**

第1会場（京王プラザホテル 本館5F コンコードAB）

8:30~10:30 シンポジウム19

抄録頁 S182-S185

S19 生命倫理審査と臨床薬理学

座長：安藤 雄一（名古屋大学医学部附属病院化学療法部）

飯島 祥彦（名古屋大学医学部附属病院）

- S19-1 生命倫理審査における臨床薬理の専門性 ～実施側として審査を受けた経験も踏まえて～
今村 知世（昭和大学先端がん治療研究所）
- S19-2 生命倫理審査における臨床薬理の専門性 ―研究申請及び審査を経験して学んだこと―
島添 隆雄（九州大学大学院薬学研究院臨床育薬学）
- S19-3 薬剤師・薬学から臨床薬理にかかわってきた立場で
稲野 彰洋（福島県立医科大学附属病院臨床研究センター）
- S19-4 生命倫理審査における臨床薬理の専門性：精神・神経医療研究領域での経験を踏まえて
永井 尚美（武蔵野大学薬学部レギュラトリーサイエンス）
- S19-5 臨床研究法における臨床薬理学の専門性
濱田 哲暢（国立がん研究センター研究所分子薬理研究分野）

指定発言：飯島 祥彦（名古屋大学医学部附属病院）

FRI

6

13:40~15:40 シンポジウム26

抄録頁 S202-S204

S26 新規安全性バイオマーカー開発の現状と医薬品開発への応用

座長：斎藤 嘉朗（国立医薬品食品衛生研究所医薬安全科学部）

熊谷 雄治（北里大学医学部附属臨床研究センター）

- S26-1 副作用回避を目的とした遺伝子検査の社会実装
蒔田 泰誠（理化学研究所生命医科学研究センター）
- S26-2 薬剤性過敏症候群のバイオマーカー ～血清 TARC 値の有用性について～
浅田 秀夫（奈良県立医科大学皮膚科学）
- S26-3 日本人における薬物肝障害バイオマーカー候補の検証
荒川 憲昭（国立医薬品食品衛生研究所医薬安全科学部）
- S26-4 バイオマーカーの適格性確認に関する国際規制動向と日本の取り組み
斎藤 嘉朗（国立医薬品食品衛生研究所医薬安全科学部）

15:40~15:50 閉会式

第2会場 (京王プラザホテル 本館5F コンコードC)

8:30~10:30 シンポジウム20

抄録頁 S186-S188

S20 アカデミア創薬・育薬における臨床薬理学の役割

座長：大戸 茂弘 (九州大学大学院薬学研究院薬剤学)
上村 尚人 (大分大学医学部臨床薬理学講座)

- S20-1 人材育成を可能とする大分大学医薬品開発クラスターにおける臨床薬理学の役割
上村 尚人 (大分大学医学部臨床薬理学/大分大学医学部附属病院臨床薬理センター/大分大学医学部附属病院総合臨床研究センター)
- S20-2 アカデミア創薬における AMED の取り組みと BINDS 事業の現状と展望
善光 龍哉 (国立研究開発法人日本医療研究開発機構戦略推進部医薬品研究課)
- S20-3 アカデミア創薬と臨床試験
野中 美和 (北里大学病院臨床研究部)
- S20-4 アカデミア創薬・育薬の課題と展望
大戸 茂弘 (九州大学大学院薬学研究院薬剤学)

13:40~15:40 シンポジウム27

抄録頁 S204-S206

FRI

S27 現代の不眠と睡眠薬の適正使用

座長：下田 和孝 (獨協医科大学精神神経医学講座)
加藤 正樹 (関西医科大学精神神経科学講座)

- S27-1 現代の不眠と睡眠薬の適正使用：総論
三島 和夫 (秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座)
- S27-2 睡眠薬適正使用ガイドラインの観点から考える不眠症治療
高江洲 義和 (杏林大学医学部精神神経科学教室)
- S27-3 睡眠薬の適正使用：副作用の観点から
守田 彩文 (医療法人社団陣内会陣内病院)
- S27-4 ベンゾジアゼピン系薬物服用中の精神疾患患者と主治医の態度
古郡 規雄 (獨協医科大学精神神経医学講座)

6

第3会場（京王プラザホテル 本館 4F 花A）

10:40~11:20 一般演題口演 15 「精神・神経疾患2」

抄録頁 S255-S257

座長：永井 将弘（愛媛大学医学部附属病院臨床研究支援センター）

- 3-O-01 健康回復の第4の因子「介入」：臨床精神薬理学的検討
齊尾 武郎（フジ虎ノ門整形外科病院精神科／SMBC日興証券健康管理室）
- 3-O-02 パーキンソン病の長期的病態推移の予測：NONMEM環境でのSReFTによる解析
神 亮太（千葉大学大学院薬学研究院臨床薬理学研究室）
- 3-O-03 炭酸リチウムが著効し周期的な緊張病性昏迷が改善した統合失調症の1例
佐藤 由英（獨協医科大学精神神経医学講座）
- 3-O-04 非定型抗精神病薬プロナセリンの全身投与によりラットの衝動的行動が減少する
笹森 瞳（北海道大学大学院医学院神経薬理学教室）

11:40~12:40 ランチョンセミナー 10

LS10 うつ病を認知機能から考える ～機能的回復・社会復帰に向けたアプローチ

座長：染矢 俊幸（新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野）

演者：中川 伸（山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座）

共催：持田製薬株式会社・吉富薬品株式会社

13:40~15:40 シンポジウム 28

抄録頁 S207-S209

S28 臨床研究倫理 30年の歩み：平成が令和に残した課題とは（学術委員会企画）

座長：笹栗 俊之（九州大学大学院医学研究院生体情報科学講座臨床薬理学分野）

森下 典子（国立病院機構本部総合研究センター治験研究部治験推進室）

- S28-1 オーバービュー：30年の歩みをどう見るか？
稲野 彰洋（福島県立医科大学附属病院臨床研究センター）
- S28-2 残された課題：研究者の視点
前田 実花（北里大学病院 HRP（Human Research Protections）室／薬剤部）
- S28-3 残された課題：被験者・患者の視点 ～臨床研究の民主化に向けて～
桜井 なおみ（一般社団法人CSRプロジェクト／キャンサーソリューションズ株式会社）
- S28-4 被験者保護という目的は、はたして達成されたのか
笹栗 俊之（九州大学大学院医学研究院生体情報科学講座臨床薬理学分野）

FRI

6

第4会場（京王プラザホテル 本館 4F 花B）

8:30~10:30 シンポジウム 21

抄録頁 S188-S190

S21 アカデミア発の医薬品等の開発において、ARO で何が可能か（学術委員会企画）

座長：花岡 英紀（千葉大学医学部附属病院臨床試験部）

植田 真一郎（琉球大学大学院医学研究科臨床薬理学講座）

- S21-1 医師主導治験のハードルは下がったか？ KAICA trial より
濱田 洋通（東京女子医科大学八千代医療センター小児科）
- S21-2 非拠点における医薬品開発 Prmatic trial とリアルワールドデータ
植田 真一郎（琉球大学大学院医学研究科臨床薬理学講座）
- S21-3 臨床研究に関わる支援人材の育成とキャリアパス
花岡 英紀（千葉大学医学部附属病院臨床試験部）
- S21-4 行政の視点から、アカデミア発シーズの開発へ期待すること
森 和彦（厚生労働省）

10:40~11:20 一般演題口演 16 「感染症」

抄録頁 S257-S259

座長：山田 浩（静岡県立大学薬学部医薬品情報解析学分野）

- 3-O-05 治療前後の鼻汁中のウイルス検出状況から考察するバロキサビルマルボキシルの薬効
田中 敏博（JA 静岡厚生連静岡厚生病院小児科）
- 3-O-06 アフリカトリパノソーマ症治療薬開発に向けた、First in Human 試験の立案・実施への取り組み
中釜 悠（大阪市立大学大学院寄生虫学）
- 3-O-07 グローバルヘルズ課題克服にむけたコンゴ民主共和国におけるトランスレーショナルリサーチ拠点の形成
城戸 康年（大阪市立大学医学研究科寄生虫学／大分大学医学部臨床薬理学）
- 3-O-08 機械学習と Model Based Exposure-Response 解析によるリネゾリド誘発性血小板減少予測モデルの検討
高橋 早紀（富山大学薬学部医療薬学研究室）

FRI

6

11:40~12:40 ランチョンセミナー 11

LS11 Current trends in ADME and microtracer studies

座長：上村 尚人（大分大学臨床薬理センター）

演者：Staci McDonald（Celerion Inc.）

共催：Celerion Inc.

13:40~15:40 シンポジウム 29

抄録頁 S210-S212

S29 臓器間ネットワーク制御：異種細胞組織構築モデルから病態生理へ
（学術委員会企画・日本薬理学会との共催プログラム）

座長：安西 尚彦（千葉大学大学院医学研究院薬理学）

楠原 洋之（東京大学大学院薬学系研究科）

- S29-1 臓器連関とその評価系開発の必要性：腎臓生理学の視点から
安西 尚彦（千葉大学大学院医学研究院薬理学）

（第4会場：次ページに続く）

第4会場（京王プラザホテル 本館 4F 花B）

- S29-2 生理学性を向上させた新たな細胞アッセイ系の構築に向けて
酒井 康行（東京大学大学院工学系研究科）
- S29-3 Organs-on-a-chip を利用した薬物動態における臓器間相互作用の理解
加藤 将夫（金沢大学薬学系分子薬物治療学）
- S29-4 心臓恒常性の神経・免疫・代謝システム連携による制御と病態
真鍋 一郎（千葉大学大学院医学系研究院長寿医学）
- S29-5 視床下部による肝糖産生の調節とその異常
井上 啓（金沢大学新学術創成研究機構）

第5会場（京王プラザホテル 本館 4F 花C）

8:30~10:30 シンポジウム 22

抄録頁 S191-S193

S22 再生医療・細胞治療の評価方法と今後の展開（学術委員会企画）

座長：松本 直樹（聖マリアンナ医科大学医学部薬理学）
松山 晃文（藤田医科大学医学部再生医療学講座）

- S22-1 臨床薬理学からみた治療方法の評価（オーバービュー）
松本 直樹（聖マリアンナ医科大学医学部薬理学）
- S22-2 細胞シートを用いた再生医療と創薬モデルの現状と新展開
清水 達也（東京女子医科大学先端生命医科学研究所）
- S22-3 再生医療等製品の不均一性と品質管理
加畑 馨（北海道大学病院臨床研究開発センター）
- S22-4 再生医療・細胞治療と臨床薬理の今後の展開 —Real World Data/Evidence の視点から
松山 晃文（藤田医科大学医学部再生医療学講座）

10:40~11:30 一般演題口演 17 「特殊患者集団（小児，妊婦・授乳婦，高齢者，希少疾患）」

座長：安藤 仁（金沢大学医薬保健研究域医学系細胞分子機能学）

抄録頁 S259-S261

- 3-O-09 原発性免疫不全症データベース（PIDJ）を活用した希少疾患の臨床開発プラットフォームの構築
遠藤 明史（東京医科歯科大学医学部附属病院臨床試験管理センター）
- 3-O-10 ミルタザピンとデュロキセチンの併用療法によりアカシジアを呈したうつ病の1例
菊池 昂太（獨協医科大学精神神経医学講座）
- 3-O-11 小児臨床試験の未完遂に至る試験デザインの特徴及びその要因の検討
種村 菜奈枝（慶應義塾大学薬学部）
- 3-O-12 希少難治疾患の医師主導治験の問題点 ～慢性活動性 Epstein-Barr ウイルス感染症対象の治験の立案から開始まで～
小池 竜司（東京医科歯科大学医療イノベーション推進センター）
- 3-O-13 小児低亜鉛血症に対する小児用剤形の開発
佐古 まゆみ（国立成育医療研究センター臨床研究センター）

11:40~12:40 ランチョンセミナー 12

LS12

座長：西山 成 (香川大学医学部薬理学)

茂木 正樹 (愛媛大学大学院医学系研究科薬理学)

演者：「MR ブロッカーの高血圧治療における意義 エサキセレンへの期待」

茂木 正樹 (愛媛大学大学院医学系研究科薬理学)

「新規非ステロイド型 MR ブロッカーエサキセレンの特徴」

西山 成 (香川大学医学部薬理学)

共催：第一三共株式会社

13:40~15:40 シンポジウム 30

抄録頁 S213-S216

S30 臨床薬理専門医は一体何をすべき人なのか (学術委員会企画)

座長：植田 真一郎 (琉球大学大学院医学研究科臨床薬理学講座)

真田 昌爾 (大阪市立大学医学部附属病院臨床研究・イノベーション推進センター)

S30-1 専門医制度の現状について

佐々木 健 (厚生労働省医政局医事課)

S30-2 海外の臨床薬理専門医制度はどうなっているのか

曳野 圭子 (理化学研究所生命医科学研究センターファーマコゲノミクス研究チーム)

S30-3 医学教育における臨床薬理

植田 真一郎 (琉球大学大学院医学研究科臨床薬理学講座)

S30-4 早期臨床開発における役割：現場で働くひとりとして考えること

上村 尚人 (大分大学医学部臨床薬理学／大分大学医学部附属病院臨床薬理センター／大分大学医学部附属病院総合臨床研究センター)

S30-5 考えられる特定の職能 (4) 新しい医療の評価：研究開発計画支援担当者

真田 昌爾 (大阪市立大学医薬部附属病院臨床研究・イノベーション推進センター)

S30-6 臨床薬理専門医：治療の場での役割

藤尾 慈 (大阪大学薬学研究科臨床薬効解析学分野／大阪大学医学系研究科循環器内科学)

FRI

6

第6会場（京王プラザホテル 本館 4F 花D）

8:30~10:30 シンポジウム23

抄録頁 S194-S196

S23 看護師に必要とされる実践的与薬学とは

座長：柳田 俊彦（宮崎大学医学部看護学科臨床薬理）

笹栗 俊之（九州大学大学院医学研究院生体情報科学講座臨床薬理学分野）

S23-1 看護学教育の動向と課題 ～看護学教育モデル・コア・カリキュラムと指定規則～

杉田 由加里（文部科学省高等教育局医学教育課）

S23-2 臨地実習における看護初学者の体験

斉藤 しのぶ（千葉大学大学院看護学研究科）

S23-3 看護実践能力の向上をめざした臨床薬理学教育の検討

松田 明子（奈良県立医科大学医学部看護学科）

S23-4 臨床薬理を看護に活かす ―iDrug と与薬のしおり―

柳田 俊彦（宮崎大学医学部看護学科臨床薬理）

10:40~11:20 一般演題口演18 「薬物動態・薬力学／TDM2」

抄録頁 S262-S263

座長：越前 宏俊（明治薬科大学薬物治療学研究室）

3-O-14 経口デスロラタジンの脳内ヒスタミン H₁受容体結合：陽電子放出断層撮影を用いた in vivo ランダム
割付二重盲検クロスオーバー臨床試験

中村 正帆（東北医科薬科大学医学部薬理学教室／東北大学大学院医学系研究科機能薬理学分野）

3-O-15 人工知能を応用した個別化投与設計手法の開発

辻 泰弘（日本大学薬学部薬剤師教育センター）

3-O-16 日本人における Venlafaxine および O-desmethylenlafaxine の鏡像異性体の薬物動態学的解析

佐々木 はづき（獨協医科大学精神神経医学講座）

3-O-17 Dahl 食塩感受性高血圧ラットにおける腎尿細管障害の治療効果を反映するバイオマーカーの検討

細畑 圭子（大阪薬科大学臨床薬学教育研究センター）

11:40~12:40 ランチョンセミナー13

LS13 本当はこれだけ深いアルツハイマー病の症状

座長：菅原 典夫（獨協医科大学精神医学講座）

演者：船山 道隆（足利赤十字病院神経精神科）

共催：エーザイ株式会社

FRI

6

13:40~15:40 シンポジウム 31

抄録頁 S216-S218

S31 臨床薬理分野でのPBPKモデルの有効活用 ~具体例を通して学ぶ~

座長: 福田 剛史 (国立成育医療研究センター)

中村 己貴子 (中外製薬株式会社)

- S31-1 生理学的薬物速度論モデルを用いたバーチャル生物学的同等性試験
土岐 浩介 (筑波大学医学医療系臨床薬理学)
- S31-2 日本での医薬品開発における生理学的薬物速度論モデルの有効活用
松本 有毅 (MSD 株式会社グローバル研究開発本部)
- S31-3 PBPKモデルの小児集団への活用 ~Knowledge gaps と next challenges~
江本 千恵 (シンシナティ小児病院医療センター臨床薬理部門/シンシナティ大学
医学部小児学)
- S31-4 PBPKモデル解析に関する承認審査の現状とPMDAの取り組み
木島 慎一 (医薬品医療機器総合機構次世代評価手法推進部)

FRI

6

第7会場（京王プラザホテル 本館 42F 富士）

8:30~10:30 シンポジウム 24

抄録頁 S196-S198

S24 基礎からのトランスレーショナルサイエンス-2
肝毒性における非臨床と臨床の知見の融合と将来展望座長：岩崎 甫（山梨大学先端応用医学講座）
斎藤 嘉朗（国立医薬品食品衛生研究所医薬安全科学部）

- S24-1 ヒト薬物性肝障害予測を志向した非臨床研究
横井 毅（名古屋大学医学研究科トキシコゲノミクス研究室）
- S24-2 ヒト iPS 細胞由来肝細胞を用いた次世代肝毒性評価系の開発
水口 裕之（大阪大学大学院薬学研究科分子生物学分野／大阪大学国際医工情報センター／
国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所）
- S24-3 肝障害におけるバイオマーカー利用
熊谷 雄治（北里大学医学部附属臨床研究センター／北里大学病院臨床試験センター）
- S24-4 実臨床における薬物性肝障害の実態
加川 建弘（東海大学医学部消化器内科）

FRI

6

10:40~11:20 一般演題口演 19 「薬物有害反応／薬物相互作用 2」

抄録頁 S264-S265

座長：内田 直樹（昭和大学医学部薬理学講座臨床薬理学部門）

- 3-O-18 繰り返すリチウム中毒が腎機能低下と薬物相互作用に起因していた一例
大和田 環（獨協医科大学精神神経医学講座）
- 3-O-19 ヒト iPS 細胞を用いたゲフィチニブ起因性肝障害の in vitro モデルの樹立とメカニズム解析
朝日 通雄（大阪医科大学医学部薬理学）
- 3-O-20 抗がん剤誘発末梢神経障害の予防薬開発を目的とした医療ビッグデータ解析および基礎研究
新村 貴博（徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床薬理学分野）
- 3-O-21 レストレスレッグス症候群を併発した双極性障害の症例にクエチアピン徐放剤が著効した1例
篠崎 将貴（獨協医科大学精神神経医学講座）

13:40~15:40 シンポジウム 32

抄録頁 S219-S221

S32 多領域で使われている生物学的製剤（バイオ医薬品）の現状と将来展望

座長：川合 眞一（東邦大学医学部炎症・疼痛制御学講座）
安藤 雄一（名古屋大学医学部附属病院化学療法部）

- S32-1 リウマチ膠原病領域における生物学的製剤使用の現状と課題
松井 利浩（国立病院機構相模原病院リウマチ科）
- S32-2 炎症性腸疾患における生物学的製剤の現状と将来展望
松岡 克善（東邦大医療センター佐倉病院消化器内科）
- S32-3 皮膚科領域で使われている生物学的製剤の現状と課題 ～乾癬を中心に～
大久保 ゆかり（東京医科大学皮膚科学分野）
- S32-4 多領域で使われている生物学的製剤（バイオ医薬品）の現状と将来展望：悪性腫瘍領域
安藤 雄一（名古屋大学医学部附属病院化学療法部）
- S32-5 バイオ医薬品の安全性 ～抗薬物抗体を中心に～
石井 明子（国立医薬品食品衛生研究所生物薬品部）

第8会場（京王プラザホテル 本館 42F 高尾）

8:30~10:30 シンポジウム 25

抄録頁 S199-S201

S25 血液がん治療薬・支持療法薬の新たな進歩

座長：山内 高弘（福井大学血液・腫瘍内科）

満間 綾子（名古屋大学医学部附属病院化学療法部）

S25-1 急性骨髄性白血病および骨髄異形成症候群に対する治療薬の進歩

細野 奈穂子（福井大学医学部附属病院血液・腫瘍内科）

S25-2 血液がんの治療薬・支持療法薬の新たな進歩：小児血液がん

多賀 崇（滋賀医科大学小児科）

S25-3 多発性骨髄腫治療の進歩と今後の展望

安井 寛（東京大学医科学研究所附属病院血液腫瘍内科／東京大学医科学研究所
先端ゲノム医療の基盤研究寄付研究部門）

S25-4 免疫学から見たモガムリズマブ（抗CCR4抗体薬）の薬理作用

嬉野 博志（佐賀大学医学部血液腫瘍内科）

S25-5 がん性疼痛に対する治療薬・支持療法薬

内藤 隆文（浜松医科大学医学部附属病院薬剤部）

FRI

6

10:40~11:20 一般演題口演 20 「臨床試験・治験 2」

抄録頁 S266-S267

座長：熊谷 雄治（北里大学医学部附属臨床研究センター／北里大学病院臨床試験センター）

3-O-22 稀少疾患を対象とした医師主導治験における症例登録推進活動 ～レジストリ・WEB広告・フィージビリティ調査の活用～

萩森 奈央子（長崎大学病院臨床研究センター）

3-O-23 医療機関に所属する臨床研究担当者を対象としたモニター養成研修（初級編）の反響と課題

藤居 靖久（千葉大学医学部附属病院臨床試験部）

3-O-24 アナグリプチンとシタグリプチンの投与 52 週後の DP4 活性の比較：REASON 試験サブ解析

徳重 明央（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科心血管病予防分析学講座）

3-O-25 ヒストリカルコントロールデータを活用した臨床試験における因果推論の枠組みに基づく効果推定法の提案

金森 沙紀（北里大学大学院薬学研究科臨床医学（臨床統計学））

（第8会場：次ページに続く）

第 8 会場 (京王プラザホテル 本館 42F 高尾)

13:40~15:40 シンポジウム 33

抄録頁 S222-S225

S33 がん免疫療法の最近の動向とマネイジメント

座長: 増田 智先 (国際医療福祉大学薬学部・成田病院)

前田 章光 (愛知県がんセンター薬剤部)

S33-1 がん免疫療法の基礎研究

北野 滋久 (がん研究会有明病院先端医療開発センターがん免疫治療開発部)

S33-2 免疫チェック阻害剤の審査について

清原 宏真 (独立行政法人医薬品医療機器総合機構)

S33-3 免疫チェックポイント阻害薬の開発

川上 智久 (中外製薬株式会社臨床開発企画部)

S33-4 免疫チェックポイント阻害薬の治験支援

工藤 千穂 (愛知県がんセンター臨床試験部臨床試験室)

S33-5 泌尿器癌の薬物療法の歴史と ICI の役割, チーム医療

江藤 正俊 (九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野)

S33-6 チーム ICI による irAE に対する対策の確立および集積結果の分析

渡邊 裕之 (九州大学病院薬剤部)

FRI

6

ポスター会場（京王プラザホテル 南館 4F 錦・扇）

ポスター 31：消化器疾患

抄録頁 S338-S339

座長：北野 雅之（和歌山県立医科大学附属病院第二内科）

- 3-P-01 腸内細菌叢を介したがん免疫微小環境修飾によるがん患者の予後予測マーカーの同定に関する研究
三邊 武彦（昭和大学医学部薬理学講座臨床薬理学部門）
- 3-P-02 内視鏡下吸引胃液 PCR による Clarithromycin 耐性遺伝子変異検査の、Vonoprazan 除菌治療における有用性
山出 美穂子（浜松医科大学医学部附属病院内科学第一／消化器内科）
- 3-P-03 壺づくり黒酢が高脂肪食に伴う脂肪肝発症に及ぼすマウスにおける効果
柴山 良彦（北海道医療大学薬学部製剤学）

ポスター 32：臨床試験・治験 5

抄録頁 S340-S342

座長：小池 竜司（東京医科歯科大学医学部附属病院臨床試験管理センター）

- 3-P-04 健康成人対象の治験における日本人および白人の血液学的検査の比較
古井 輝美（医療法人相生会墨田病院）
- 3-P-05 脳脊髄液採取時に使用するスピッツ把持装置の考案
上原 真理（医療法人相生会墨田病院）
- 3-P-06 早期臨床試験における被験者の脳脊髄液採取 ー実施方法と合併症の検討ー（第2報）
矢澤 利枝（医療法人相生会墨田病院）
- 3-P-07 白人被験者の HBs 抗体陽性率について
米村 拓磨（医療法人相生会墨田病院）
- 3-P-08 健康成人対象の治験における日本人および白人の BMI の比較検討
竹島 雅治（医療法人相生会墨田病院）

ポスター 33：臨床試験・治験 6

抄録頁 S342-S344

座長：細野 浩之（帝京大学医学部附属病院臨床試験・治験統括センター）

- 3-P-09 治験薬調製担当薬剤師向け説明会の必要性に関する評価
藤塚 浩久（筑波大学つくば臨床医学研究開発機構）
- 3-P-10 未承認ワクチン Stamaril を使用した大規模な特定臨床研究の実施における取り組みと工夫
寺田 麻里（国立研究開発法人国立国際医療研究センター臨床研究センター／学校法人聖路加国際大学公衆衛生大学院）
- 3-P-11 うつ病増強療法における Aripiprazole 低用量群と高用量群のランダム化比較試験 ー血漿ドパミン代謝産物濃度と治療反応性との関連ー
堀越 翔（ほりこし心身クリニック）
- 3-P-12 臨床薬理試験に eSource（DDC：Direct Data Capture）を用いた場合の考察と課題 模擬試験の結果
降旗 謙一（医療法人社団慶幸会ピーワンクリニック／慶應義塾大学医学部薬理学教室）
- 3-P-13 多発性嚢胞腎（PKD）患者における tolvaptan（TLV）中止の影響
下田 奈央子（日本医科大学付属病院腎臓内科）

ポスター 34：治験マネジメント（CRC/CRA/CRO/SMO）4

抄録頁 S345-S347

座長：森豊 隆志（東京大学医学部附属病院臨床研究支援センター）

- 3-P-14 放射線皮膚炎に対するステロイド外用薬の有用性を検証するプラセボ対照ランダム化第3相比較試験における当施設での盲検化体制および試験薬管理方法
増島 広幸（静岡県立静岡がんセンター薬剤部）
- 3-P-15 呉医療センターにおける大規模災害時の治験対応マニュアル作成について
渡部 活起（独立行政法人国立病院機構呉医療センター）

FRI

6

ポスター会場（京王プラザホテル 南館 4F 錦・扇）

- 3-P-16 Risk based approach の手法を用いた CRC 業務の可視化 —フロー型マニュアルの作成—
日比野 文代（昭和大学江東豊洲病院）
- 3-P-17 CRC に対する教育内容の質向上を目指した取り組み
—講義の質を評価するアンケート調査を実施して—
石川 ひろみ（独立行政法人国立病院機構九州がんセンター臨床研究センター）
- 3-P-18 自閉スペクトラム症対象の医師主導治験を経験して
～治験計画書を遵守するために対応した事例の紹介～
勝又 美由紀（浜松医科大学附属病院臨床研究管理センター）

ポスター 35：医薬品情報

抄録頁 S347-S349

座長：新岡 武典（弘前大学医学部附属病院）

- 3-P-19 数値で見る注射剤の配合変化 ～濁度計を用いた配合変化の測定：ヘパリンナトリウムとドブタミンの配合変化を例として～
深尾 彰平（日本医科大学多摩永山病院薬剤部）
- 3-P-20 新薬の薬価算定における加算に影響を与える要因の分析
足立 哲彦（東京大学大学院薬学系研究科医薬品評価科学講座）
- 3-P-21 医薬品の承認申請に係る臨床試験データパッケージの特徴
松崎 達彦（東京大学大学院薬学系研究科医薬品評価科学講座）
- 3-P-22 薬剤耐性アクションプランに対応した経口抗菌薬採用見直しとその効果
座間味 丈人（琉球大学医学部附属病院薬剤部／琉球大学医学部附属病院感染対策室）
- 3-P-23 国内医療用医薬品の市場構造に関する考察：
Gini coefficient 及び Herfindahl-Hirschman Index を用いた検討
柴田 翔洋（筑波大学大学院ビジネス科学研究科／慶應義塾大学薬学部薬学教育研究センター）

ポスター 36：生物統計／薬剤疫学

抄録頁 S350-S352

座長：有馬 久富（福岡大学医学部衛生・公衆衛生）

- 3-P-24 ランジオロールによる心房細動治療が与える心不全への中長期的な影響：傾向スコアを用いた後ろ向きコホート研究
渡邊 崇（名古屋市立大学大学院薬学研究科レギュラトリーサイエンス分野／小野薬品工業株式会社信頼性保証本部ファーマコヴィジランス部データサイエンス室データ解析課）
- 3-P-25 生物統計家による臨床研究相談の取り組みとアンケート調査からみえた課題について
古関 竹直（藤田医科大学研究支援推進本部治験・臨床研究支援センター／藤田医科大学医学部）
- 3-P-26 介護施設入居者を対象とした、認知症の重症度と日常生活動作の程度が QOL に与える影響の評価
芦澤 匠（東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学教室）
- 3-P-27 多施設共同試験におけるベイズ流有限混合分布モデルを用いた異常施設検出
畑山 知慶（ヤンセンファーマ株式会社生物統計部）
- 3-P-28 電子カルテデータベースを用いた高血圧患者への降圧薬の心血管イベント予防効果の比較
前田 直輝（東京大学大学院薬学系研究科）

ポスター 37：研究倫理

抄録頁 S352-S354

座長：菅原 典夫（獨協医科大学精神神経医学）

- 3-P-29 医師を対象とした“研究倫理教育”に関する意識調査
渡邊 達也（北里大学医学部附属臨床研究センター企画開発部門）

- 3-P-30 研究倫理審査委員会による研究対象者相談窓口の設置
横田 崇 (東北大学病院臨床研究監理センター)
- 3-P-31 同意説明文書の説明事項に関するアンケート調査
～理想の同意説明文書～
福島 千鶴 (長崎大学病院臨床研究センター)
- 3-P-32 Data Integrity: 治験における不正行為の実態調査
平山 清美 (大分大学医学部臨床薬理学講座)
- 3-P-33 昭和大学における認定臨床研究審査委員会 (CRB) の設置と問い合わせ事例からみる今後の課題
内倉 健 (昭和大学統括研究推進センター/昭和大学病院臨床試験支援センター/昭和大学薬学部
病院薬剤学講座)

ポスター 38: その他 2

抄録頁 S355-S356

座長: 三浦 昌朋 (秋田大学病院薬剤部)

- 3-P-34 試験薬および検体の温度管理における獨協医科大学病院の対応と今後の展望
本田 雅巳 (獨協医科大学病院薬剤部)
- 3-P-35 LAT1 阻害薬によるアトピー性皮膚炎の抑制
林 啓太郎 (獨協医科大学医学部薬理学講座)
- 3-P-36 日本における加熱式たばこ製品の使用状況
[Patterns of use behaviors in Japanese novel tobacco vapor product users]
久保田 照茂 (日本たばこ産業株式会社)
- 3-P-37 リハビリテーション医療における臨床研究の推移に関する調査
梅木 駿太 (社会医療法人敬和会大分岡病院創薬センター)

FRI

6

ポスター 39: その他 3

抄録頁 S357-S358

座長: 藤田 朋恵 (獨協医科大学薬理学講座)

- 3-P-38 特別養護老人ホーム入所者におけるアロマ成分含有食品摂取時の口腔内衛生環境の変化
小原 道子 (岐阜薬科大学地域医療薬学寄付講座/ウエルシア HD 株式会社)
- 3-P-39 一般開業クリニックにおける糖尿病患者を対象とした Free Style リブレ Pro (Abbott 社) を用いた
安全性とグルコースモニタリングの検討
龍 家圭 (昭和大学臨床薬理研究所/昭和大学医学部薬理学講座臨床薬理学部門)
- 3-P-40 日本人ループス腎炎患者におけるヒドロキシクロロキンの適正使用に関する検討
清水 美貴子 (青森大学薬学部薬物代謝動態学)

ポスター 40: その他 4

抄録頁 S358-S360

座長: 吉山 友二 (北里大学薬学部臨床薬学研究・教育センター臨床薬学)

- 3-P-41 The differences between two algorithms used to measure ECG subintervals in intervention-free, fasted
volunteers taking part in an intensive QT study
Simon Coates (Richmond Pharmacology Ltd. London, United Kingdom)
- 3-P-42 Sex differences in subinterval measurements in intervention-free, fasted ECGs from seven intensive
QT studies
Simon Coates (Richmond Pharmacology Ltd. London, United Kingdom)

ポスター会場（京王プラザホテル 南館 4F 錦・扇）

- 3-P-43 Do hERG blocking agents further increase the risk of sudden cardiac death in patients with type 1 diabetes?
Jorg Taubel (Richmond Pharmacology Ltd, London, United Kingdom/ Cardiovascular and Cell Sciences Research Institute, St George's, University London, United Kingdom)
- 3-P-44 Gintonin administration increase Blood Brain Barrier trafficking parameters of K_{trans} and V_p in Dynamic Contrast Enhanced MRI
Manho Kim (Department of Neurology, Neuroscience and Protein metabolism Research Center, Seoul National University Hospital, 101, Daehak-ro, Jongno-gu, Seoul 03080, South Korea)

FRI

6